PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2002-015153

(43) Date of publication of application: 18.01.2002

(51)Int.CI.

G06F 17/60 G06F 17/30 H04N 7/173

(21)Application number: 2000-197192

(71)Applicant: TOSHIBA CORP

(22)Date of filing:

29.06.2000

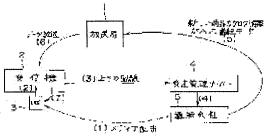
(72)Inventor: KAMATA TOSHIO

(54) MAIL-ORDER SALE METHOD AND SYSTEM, RECEIVER AND RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a mail-order sale method and system, a receiver and a memory card with which catalog information stored on a recording medium can be updated by utilizing data broadcasting and communication time and communication cost can be reduced.

SOLUTION: The recording medium 3 where an identifier capable of discriminating a broadcasting station 1 or its broadcasting program is recorded and merchandise catalog information is stored is prepared, and the catalog information of the medium 3 is updated with data transmitted by the data broadcasting of the station 1. The receiver 2 displays the catalog information written on the medium 3 on the display, and a user can select merchandise while interactively operating on the screen and transmit ordering data at an order receiving server through a line. As the recording medium 3, the memory card that is small in size and light in weight despite of being mass in capacity is used.



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(III)特許出願公開番号 特開2002-15153

(P2002-15153A)

(43)公開日 平成14年1月18日(2002.1.18)

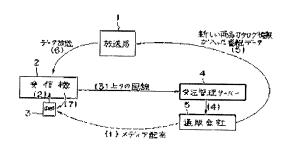
			(45)	ANDM III	平成14年1月1	18 El (2002, 1, 18)
(51) Int.CL.7		織別記号	FI		デーマコート*(参考)	
G06F	17/60	310	G06F 17/60		310E	5B049
		ZEC			ZEC	5B075
		328			328	5C064
	17/30	3 4 0	17/30		3 4 0 A	
H04N	7/173	620	HO4N 7/173	:	620A	
		來該查審	•			最終更に続く
(21)出驥番号		特線2000-197192(P2000-197192)	(71) 出廢人 000003078 株式会社東芝			
(22)出願日		平成12年6月29日(2000, 6, 29)	京京都港区芝浦一丁目1巻1号			
		1,042-1, 0,020 [] (2000) 01 220,	(72) 発明者 鎌田 寿央			
			1			9番地2号 株
			1		深谷映像工場内	
			(74)代理人 1000		冰台吹除上物 的	
			· ·		athe var	
			<u> </u>	上 伊	脚準	
						最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通信販売方法、システム、受信機及び記録媒体

(57)【要約】

【課題】データ放送を利用して、記録媒体に記憶したカタログ情報の更新が可能であると共に、通信時間及び通信コストの削減が可能な通信販売方法。システム、受信機及びメモリカードを提供すること。

【解疾手段】放送局1或いはその放送番組が識別可能な 識別子が記録されかつ商品のカタログ情報が記憶されて いる記録媒体3を用意し、放送局1のデータ放送で送ら れてくるデータで記録媒体3のカタログ情報を更新す る。受信機2は記録媒体3に書き込まれたカタログ情報 をディスプレイに表示し、ユーザーは画面上で対話的に 繰作しながら商品選択し回線を通して完注ゲーバーにて 発注データを送ることができる。記録媒体3としては大 容量であるが小型で軽置なメモリカードを使用する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】放送局或いはその放送番組が識別可能な識 別子が記録されかつ商品のカタログ情報が記憶されてい る記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られ てくるデータで前記記録媒体のカタログ情報を更新する よろにしたことを特徴とする通信販売方法。

【請求項2】放送局或いはその放送番組が識別可能な識 別子が記録された記録媒体を用意し、前記放送局のデー タ放送で送られてくるカタログ情報のデータを前記記録 媒体に記録及び更新するようにしたととを特徴とする通 10 請求項8記載の記録媒体と 信販売方法。

【請求項3】顧客管理するために、通販会社は前記記録 媒体を配布することを特徴とする請求項1又は2に記載 の通信販売方法。

【請求項4】請求項1乃至3のいずれか1つの通信販売 方法における受信機であって、前記データ放送で送られ てくるデータに含まれる識別子と前記記録媒体に含まれ る識別子の一致を検出し、一致した場合に受信したデー タ放送のデータで前記記録媒体のカタログ情報を更新す ることを特徴とする受信機。

【請求項5】請求項1乃至3のいずれか1つの通信販売 方法における記録媒体であって、特定言語のフォーマッ トで前記カタログ情報及び識別子が記録されていること を特徴とする記録媒体。

【請求項6】記録媒体装着部と、

データ放送番組を受信する受信手段と、

前記記録媒体装着部に装着されている記録媒体に含まれ る識別子を検出する手段と、

受信したデータ放送番組に含まれる識別子を検出する手 段と

受信したデータ放送番組の識別子と前記記録媒体に含ま れる識別子を比較する手段と、

比較の結果、同一情報提供者からの更新されたカタログ **情報を含むデータ放送番組であると判断した場合に受信** した放送番組データを前記記録媒体に書き込む手段と、 前記記録媒体に記憶されたデータ放送番組を再生する手 段とを具備したことを特徴とする受信機。

【請求項7】請求項6記載の受信機と、

データ放送香組のフォーマットで力タログ情報が記憶さ れた記録媒体と

データ放送番組で最新のカタログ情報を送信するデータ 放送サーバーと、

前記受信機から通信回線を通して送られる商品受注情報 を処理する受注管理サーバーとを具備したことを特徴と する通信販売システム。

【請求項8】前記記録媒体は、カタログ情報及び識別子 のほかに、さらに更新履歴情報を記憶したことを特徴と する請求項5又は6に記載の記録媒体。

【請求項9】さらに、ユーザー操作手段と、通信モデム を具備し、カタログ情報に含まれるスクリプトにしたが「50」【0006】とのようなテレビショッピングシステム

って情報を提示している間に、ユーザーの選択操作に応 じて、所定サーバーとの間でデータ通信することが可能 なことを特徴とする請求項6に記載の受信機。

【請求項10】前記請求項6記載の受信機と、

請求項8記載の記録媒体と、

更新されたカタログ情報を識別子と更新履歴情報を含め でデータ放送で放送するデータ放送サーバーとを具備し たととを特徴とする通信販売システム。

【請求項11】請求項9記載の受信機と、

更新されたカタログ情報を識別子と更新履歴情報を含め でデータ放送で放送するデータ放送サーバーと、

前記受信機に含まれる通信モデムと通信回線を通して商 品発注情報に関してデータ通信を行う受注管理サーバー とを具備したことを特徴とする通信販売システム。

【請求項12】請求項8記載の記録媒体は、さらに顧客 識別情報及び発注履歴情報を記憶することを特徴とする 記錄媒体。

【発明の詳細な説明】

20 [0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、データ放送とカ タログ情報が記憶されている記録媒体とを利用する通信 販売方法、システム、受信機及び記録媒体に関するもの である。

[0002]

【従来の技術】ディジタル放送として、高精細テレビジ ョンを含むテレビジョンサービスと音声放送サービス は、技術的な条件に関して標準方式が規定され、運用確 認を含むARIB(電波産業会:Association of Radio Industries and Businessの略)規格の検討が進められ でいる。一方、文字、図形、画像、音声、制御情報など のデータを組み合わせて様々なサービスが可能なデータ 放送は、今後の技術進歩を受けて多様なニーズと発展が 予想される。

【0003】データ放送サービスとしては、テレビジョ ンに重ねて表示する字幕と文字スーパー、及び画像、音 声、データを統合化したマルチメディアサービスが想定 される。マルチメディアサービスとは、ディジタルの特 質を活かして、複数の表現メディアを統合して提示する 40 情報を対話的(インタラクティブ)に視聴できるメディ アによるサービスである。

【0004】従来、アナログ地上放送において、テレビ ジョン放送信号の垂直帰線消去期間を使用するデータ多 重放送が行われている。

【0005】例えば铃願平7→195116号明細書に 記載されている双方向通信装置では、データ放送受信装 置に通信モデムを内蔵し、その双方向通信機能を利用し たテレビショッピングシステムおよびオンラインショッ ピングシステムが提案されている。

3

は、テレビショッピング番組で紹介した商品を購入する 画面をデータ放送で送出し、リモコンなどの入力操作で 通信をデムを介して発注することにより簡単に商品を購 入できるものである。

【0007】また、上記のようなオンラインショッピン グシステムでは、データ放送による商品紹介と購入のた めの画面を繰返し放送し、視聴者の利用したい時間に合 わせた利用が可能で、かつインターネットによるオンラ インショッピングと比較して、通信媒体として通信回線 に依らず放送電波を利用するものであるため、商品情報 10 を視聴している間には特に通信コストがかからないとい う特徴を有する。

【0008】一方、通信販売の市場では、前記したテレ ビショッピング以外に、印刷カタログによるカタログシ ョッピングがある。これは、詳細な商品カタログにより テレビショッピングでは鍛えない畳の商品を、利用者が 好きな時間に見て、購入検討ができるため、大変普及し ている。

【0009】さらに、特開平7-295998号公報で -ROMなどの電子メディアを利用した電子商品カタロ グも鍉塞されている。特に光磁気ディスクを利用した電 子カタログではオンラインによる内容更新が可能なこと も提案されている。

【0010】また、特闘平10-162079号公報に は、端末とサーバー間を通信回線で結びCD-ROMの ような書き換えできない記録媒体から膨大な商品情報を 読み出し発注することによりオンラインショッピングを 実現したものもある。

【0011】さらに、特開2000-20552号公報 30 には、CDなどの書き換えできない記録媒体から広告又 はカタログ情報を読み出し、バソコンからオンラインで アンケート回答や運販申し込みを行うのもある。

【0012】また、昨今のインターネットブームを受け て、インターネット接続機能を有するバソコンを利用し たオンラインショッピングの普及が期待されている。 100131

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、特願平 7-195116号明細書に記載されている、従来のデ ータ多重放送を利用したテレビショッピングシステムに 40 おいては、放送されているデータを読み込んで表示する ものでありかつデータ放送のデータ帯域が狭く。十分な 商品情報を放送することが困難であると言う欠点があ

【0014】また、印刷媒体によるカタログショッピン グでは商品の入れ替えの度に新しいカタログを印刷しな ければいけないという欠点がある。

【0015】また、特勝平?-295998号公朝で提 案されている大容置の電子カタログを利用した装置は― 高価な装置が必要なばかりか、書き換えを行う場合は通 信回線を利用して行うため書き換え時にはデータ供給が ーバーに接続された通信回線が一大一人に対して専有さ れてしまい、ユーザー、通販会社とも通信時間と通信コ ストが多くかかるという欠点を有する。

【0016】また、特闘平10-162079号公錫で 提案されているオンラインショッピングシステムは、鑪 末側のRAMを書き換えることで商品情報を更新可能で あるが、CD-ROMの記録媒体の情報は更新できない と共に、端末側のデータの書き換えには通信回線を利用 するため、上述の通信回線利用の場合と同様に通信時間 と通信コストがかかるという欠点がある。

【0017】また、特開2000-20552号公報に ついても、CDの記録媒体の書き換えができないと共 に、通信回線を利用するため、通信時間と通信コストが かかるという問題がある。

【0018】そこで、本発明は、上記のような従来の間 題を解消するものであり、データ放送を利用して、記録 媒体に記憶したカタログ情報の更新が可能であると共 提案されているように、大容置の光磁気ディスクやCD 20 に、通信時間及び通信コストの削減が可能な通信販売方 法、システム、受信機及び記録媒体を提供することを目 的とするものである。

[0019]

【課題を解決するための手段】本発明による通信販売方 法は、放送局或いはその放送番組が識別可能な識別子が 記録されかつ商品のカタログ情報が記憶されている記録 媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られてくる データで前記記録媒体のカタログ情報を更新するように したことを特徴とする。

【0020】軟いは、本発明による通信販売方法は、放 送局或いはその放送番組が識別可能可能な識別子が記録 された記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送 られてくるカタログ情報のデータを前記記録媒体に記録 及び更新するようにしたことを特徴とする。

【0021】また、上記道信販売方法では、顧客管理す るために、運販会社は前記記録媒体を顧客に配布する。 【0022】本発明による受信機は、上記通信販売方法 における受信機であって、前記データ放送で送られてく るデータに含まれる識別子と前記記録媒体に含まれる識 別子の一致を検出し、一致した場合に受信したデータ放 送のデータで前記記録媒体のカタログ情報を更新すると とを特徴とする。

【りり23】本発明による記録媒体は、上記通信販売方 法における記録媒体であって、特定言語のフォーマット で前記カタログ情報及び識別子が記録されていることを 特徴とする。

【0024】さらに、本発明による受信機は、記録媒体 装着部と、データ放送番組を受信する受信手段と、前記 記録媒体装着部に装着されている記録媒体に含まれる識 般に高価であり、内容の書き換えをする場合にはさらに 50 別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組に含ま

れる識別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組 の識別子と前記記録媒体に含まれる識別子を比較する手 段と、比較の結果、同一情報提供者からの更新されたカ タログ情報を含むデータ放送番組であると判断した場合 に受信した放送番組データを前記記録媒体に書き込む手 段と、前記記録媒体に記憶されたカタログ情報を再生す る手段と、を具備したことを特徴とする。

【0025】本発明による通信販売システムは、前記の 受信機と、データ放送番組のフォーマットで力タログ情 級が記憶された記録媒体と、データ放送番組で最新のカー10 S)からのディジタル放送信号を受信アンテナによって タログ情報を送信するデータ放送サーバーと、前記受信 機から運信回線を運して送られる商品発注情報を処理す る受性管理サーバーと、を具備したことを特徴とする。 【0026】さらに、本発明による記録媒体は、カタロ グ情報及び識別子のほかに、さらに更新履歴情報を記憶 したことを特徴とする。

【0027】本発明においては、商品カタログはデータ 放送番組のフォーマットで記録媒体に記憶されて配布さ れ、それをデータ放送受信機の記録媒体装着部に装着し 可能である。

【0028】さらに、商品情報の入れ替えあるいは更新 の必要が生じた場合には情報提供者はデータ放送を利用 して更新された情報を放送することによりユーザーが所 有する記録媒体のカタログ情報を更新することが可能で ある。

【0029】また、ユーザーはカタログ情報がデータ放 送番組の特定言語のフォーマットで記述されているた め、画像情報の他にスクリプトによるユーザーインター フェース(GUI)を構築することができ、簡単な操作 30 画、ダイジェスト再生、過っかけ再生などが可能であ で商品購入を行うことが可能となるものである。

【0030】記録媒体として半導体メモリカードを用い ることができる。現在、メモリカードの容置の進化はと どまることを知らず、大容量のCD-ROMなどと同容 置あるいはそれ以上になる時も遠くない状況にある。従 って、小型軽量で携帯に便利なスマートメディアなどの メモリカードを使用することで、十分な画像情報(カタ ログ情報)置が記憶されている記録メディアを、多数の ユーザーに配布することが容易である。そして、データ 更新することができ、電話回線を用いる従来の方式に比 べて通信時間及び通信コストが節約できる。

[0031]

【発明の実施の形態】発明の実施の形態について図面を 参照して説明する。図1乃至図3を参照して本発明の実 施の形態を説明する前に、図4を参照して一般的なディ ジタル放送受信機の構成例について説明する。

【0032】倒えばBSディジタル放送システムにおい ては、放送局に設けられたディジタル放送送信機にて、

PEG2により圧縮し、圧縮した映像データ及び音声デ ータからなるAVデータを、各ユーザに対する個別情報 等、各種の情報と共に多重化し、バケット形式に変換し て、更に秘匿性を確保するためのスクランブル処理等、 必要な処理を施した後、送信アンテナから放送衛星(B S) へ向けて送信する。個別情報には例えば、放送享業 者(放送局)との契約内容、及びスクランブル解除のた めの鍵情報が含まれている。

б

【0033】ディジタル放送受信機では、放送衛星(B 受信し、受信した信号に対し送信時とは逆の処理を施し て、音声信号及び映像信号を生成し、これらの信号を工 V受像機へ供給して、映像及び音声を再生する。

【0034】一方、ディジタル放送のデータ放送では、 従来のテレビジョン放送信号にデータを多重するデータ 多重放送とは異なり、文字や図形だけでなく、静止画、 動画、音声など多彩な表現が可能である。ディジタル放 送受信機には、標準でデータ放送受信機能が内蔵される 予定となっている。データ放送香組は、データカルーセ で再生することにより自由に商品カタログを見ることが、20 ル(回転本馬)といった方式で繰り返し送信される。デ ータ放送では例えば「天気」番組の他にも「お知らせ」 など独立型香組やテレビ連動型香組など様々な番組が可 能となる。

> 【0035】データ放送におけるデータサービスを受け るためには、受信機内に、蓄積機能、受信機能、通信機 能、提示機能が必要とされる。例えば、受信提示におい ては、データは受信機メモリに蓄積され、視聴者の操作 に応じて対話的に提示される。また、映像・音声の蓄積 機能により、テレビジョン番組の自動更新録画。予約録 る。また、通信機能を用いれば、ショッピングやアンケ ートなど視聴者参加番組に対して、視聴者からアクセス して申し込みや回答を送ることが可能となる。

【0036】図4は一般的なディジタル放送受信機の構 成例を示している。本受信機は比較的簡易な構成の受信 銭であり、蓄積機能に制約がある。つまり、チェーナー TSデコーダまでの回路系統は1系統となっており、異 なるトランスポートストリーム (TS) に関する蓄積動 作は視聴者が視聴していないときにのみ可能となってい 放送を利用して多数のユーザーのメモリカードを一度に 40 る。なお、受信機能を複数化(チューナーTSデコーダ までの回路系統を2系統装備) すれば、裏番組録画など が可能となる。

> 【0037】図4において、31はRFAカ鑑子であ り、BSディジタル放送では1GHz帯のPSK変調波 がバラボラアンテナに取付けられた屋外ユニットから導 入される。なお、地上波ディジタル放送では、RF入力 巉子31にはVHF及びUHF帯のOFDM変調液がア ンテナから導入される。

【0038】RF入力蝎子31に導入されたディジタル 映像データと音声データを動画圧縮の国際標準であるM. 50 変調波は、チェーナ32で周波数変換され、復調・復号

部23でディジタル変調方式に対応して復調され、さら に誤り訂正などを行って復号がなされる。復調・復号部 33で復号された信号ストリームは、MPEGトランス ポートストリーム形式(以下TS)のバケットとなって おり、TSデコーダ34でデスクランブル動作及びTS パケット毎のフィルタリング (分離)が行われる。MP EG-AVデコーダ35は映像デコード回路と音声デコ ード回路とで構成されている。TSデコーダ34からの 映像に関するバケットはMPEG-AVデコーダ35内 の映像デコード回路へ、音声に関するバケットはMPE 10 G-AVデコーダ35内の音声デコード回路へ、データ 放送の香組に関するパケットはCPU42へ、視聴制御 (例えば特定のユーザのみが視聴可能な限定受信制御、 以下CAS)に関するパケットはICカード回路4.4へ 導入される。

【0039】MPEG-AVデコーダ35内の映像デコ ード回路で再生された映像データは、さらにアナログ映 像信号に変換され、台成部45を経て映像出力端子48 へ出力される。MPEG-AVデコーダ4.5内の音声デ コード回路で再生された音声データは、さらにアナログ 20 音声信号に変換され、台成部46を経て音声出力端子4 7へ出力される。受信機全体を制御する制御部は、演算 及び判断機能を育するCPU42と、プログラムデータ を絡納すると共にデータ放送における文字、映像及びス クリプトのデータを蓄積するためのフラッシュメモリ (EEPROM)で構成されたROM40と、作業用メ モリであるRAM41とを有しており、上述した受信機 内の各部ブロックを制御することが可能である。

【0040】TSデコーダ34で分離して取り出された れ、文字やグラフィックス(絵)や音声となり、文字や グラフィックスの部分はオンスクリーンディスプレイ部 (OSD部)36で表示用画像信号に変換された後、台 成部45でMPEG-AVデコーダ35からのディジタ ル放送の映像信号に重量される形で映像出力端子47か ら出力される。また、CPU42で復号されたデータ放 送の音声部分は付加音デコーダ28で音声信号に変換さ れた後、台成部46を経て音声出力端子48から出力さ れる。さらに、ディジタル放送の音声放送サービスの信 号についても、TSデコーダ34で分解後、CPU42 40 難したり発注操作が行える手順(スクリプトデータ)が で復号されPCMデコーダ37で音声信号に変換された 後、合成部46を経て音声出力端子48から出力され る。なお、符号39はMPEGデータを復号処理する際 に用いるRAMであり、43はデータ放送における視聴 者参加の双方向サービスなどに用いる通信用のモデムで ある。

【①041】図1は本発明の一実施の形態の通信販売シ ステム及びその方法の説明図を示している。

【0042】図1において、放送局1はディジタル放送

信機であっても、或いは現行の標準テレビジョン放送に おけるデータ多重放送サーバーを備えたアナログ放送法 信機であってもよい。放送局1からは放送電波でディジ タル放送のデータ放送信号或いは現行アナログ放送のデ ータ多重放送信号(ディジタル放送の場合も、現行アナ ログ放送の場合も、以下単にデータ放送という)がユー ザーの受信機2に送られる。放送局1におけるデータ放 送サーバーは、データ放送番組で最新の広告を含む商品 カタログ情報を送信することが可能であり、データ放送 香組データには放送局1或いはその放送番組を識別する 識別子が付されている。

【0043】受信機2の構成は、例えばディジタル放送 のデータ放送における受信機について言えば図4に示し た受信機に対して、商品カタログ情報が記憶されている メモリカードなどの記録媒体3を用意し、この記録媒体 3を着脱自在に続着する構成とし、記録媒体3からカタ ログ情報を読み出して受信機ディスプレイに表示し、ユ ーザーが受信機操作手段にて対話的な操作を行い、受信 機通信手段である通信モデム(図示せず)に商品発注等 の通信も行えるようにしてある。

【0044】つまり、受信機2に設けられた記録媒体装 着部(図示せず)には記録媒体3が着脱自在に装着され るようになっていると共に、受信機2の通信モデム(図 示せず)を利用するととによって、ユーザーの発注操作 に応じて上りの通信回線を利用して受注管理サーバー1 4 と通信を行えるようになっている。上りの通信回線と しては、通常の電話の有線回線を利用するものでも、携 帯電話などの無線回線を利用するものでもよい。

【0045】記録媒体3は、例えばスマートメディアや データ放送の番組データはCPU42に送られて復号さ 30 SD(Super Density Disk)カードのような半導体メモ リカードで構成され、データ放送番組の特定言語のフォ ーマット(例えばXMLフォーマット)で符号化された 商品方タログ情報が記憶されると共に放送局或いば放送 香組を識別する識別子が予め記憶されている。

【0046】放送局しから送られてくる番組データ、及 び記録媒体3に記録された番組データは少なくとも文 字、映像及びスクリプトのデータで構成されていてい る。つまり、広告データ等を含む商品カタログ情報の文 字や映像データを含んでおり、更には対話的に内容を闖 組み込まれている。ここでは、香組データは、例えば糖 立データ放送によるデータであり、同時刻に放送される テレビジョンサービスの映像や音声とは基本的に独立し たデータである。

【0047】受注管理サーバー4は受信機2から通信回 線を通して送られる商品受注情報を処理するものであ る。受注管理サーバー4は、運販会社5に設置されてい ても、或いは別の収集局内の設置されていてもよい。 【0048】図1のように緯成された通信販売システム におけるデータ放送サーバーを備えたディジタル放送送 50 における通信販売方法について、図1に示す符号(1)~

(7)に沿って以下に説明する。

【0049】(1) 通販会社が商品カタログ情報の入っ た記録媒体3としてメモリカードを配布する。

【0050】(2) ユーザーは、受信機2に上記記録媒 体3を装着し、記録媒体3からカタログ情報を読み出し で受信機2のディスプレイに表示し、受信機2のキーボ ードなどの操作手段を用いて画面上で対話的に操作して 商品カタログ情報を見るととができる。

【0051】(3) ユーザーは、気に入った商品を対話 信モデムを利用して上りの回線を通して受注管理サーバ ー4に発注データを送信する。

【0052】(4) 受注管理サーバー4の発注データを 元に、運販会社5は商品を発送する。

【0053】(5) 通販会社5は、新しい商品カタログ 情報の入った番組データを放送局1に提供する。

【0054】(6) 放送局!は独立データ放送で番組デ ータを送信する.

【0055】(7) 受信機2は番組データを受信して、 最新版であれば、メモリカードの内容を更新する。

【0056】なお、記録媒体3には、カタログ情報及び 識別子のほかに、さらに更新履歴情報や、顧客識別情 報、発注履歴情報を記憶するようにしてもよい。

【0057】図2は本発明の他の実施の形態の道信販売 システム及びその方法の説明図を示している。図1の実 施の形態では放送局から放送電波でデータ放送を送信す る場合について説明したが、図2の本実施の形態では€ ATV放送局からケーブルを介してデータ放送を送信す る場合について説明する。

【0058】図2において、CATV放送局11はディ ジタル放送におけるデータ放送サーバーを備えたディジ タル放送送信機であっても、或いは現行の標準テレビジ ョン・データ多重放送サーバーを備えたアナログ放送送 信機であってもよい。CATV放送局11からはCAT Vケーブルの下り回線を介してデータ放送信号がユーザ 一の受信機12に送られる。放送局11におけるデータ 放送サーバーは、データ放送番組で最新の広告を含む商 品カタログ情報を送信することが可能であり、データ放 送番組データには放送局11或いは放送香組を識別する 40 識別子が付されている。

【0059】受信機12の構成は、図1の場合と同様で あり、例えばディジタル放送のデータ放送における受信 機について言えば図4に示した受信機に対して記録媒体 装着部(図示せず)が設けられており、商品カタログ情 級が記憶されているメモリカードなどの記録媒体13を 着脱自在に装着する構成としてあり、カタログ情報を記 録媒体13から読み出してディスプレイに表示し、操作 季段にて対話的な操作を行って商品発注等のデータを○ ATVケーブルの上り回線を通し放送局11に送信する。50、線、発注履歴情報を記憶するようにしてもよい。

ことも行えるようにしてある。発注データはCATV放 送局11を経て受注管理サーバー14に送信される。

【0060】記錄媒体13は、スマートメディアやSD (Super Density Disk) カードのようなメモリカードで 構成され、データ放送番組のフォーマットで符号化され た商品力タログ情報が記憶されると共に放送局11敗い は放送番組を識別する識別子が予め記憶されている。

【0061】放送局11から送信されてくる香組デー タ、及び記録媒体13に記録された番組データは、少な 的な操作の中で発注操作することにより、受信機2は通 10 くとも文字、映像及びスクリプトのデータで構成されて いる。つまり、広告データ等を含む商品カタログ情報の 文字や映像データを含んでおり更には対話的に内容を閲 覧したり発注操作が行える手順 (スクリプトデータ) が 組み込まれている。ここで、香組データは、例えば独立 データ放送によるデータであり、同時刻に放送されるテ レビジョンサービスの映像や音声とは基本的に独立した 独自の内容のデータである。

【0062】受注管理サーバー14は受信機12から通 信回線を通して送られる商品受注情報を処理するもので その受信データがメモリカードと同一のカタログ情報の 20 ある。受注管理サーバー14は、通販会社15に設置さ れていても、咳いは別の収集周内の設置されていてもよ

> 【0063】以上のように構成された通信販売システム における通信販売方法について、図2に示す符号(1)~ (7)に沿って以下に説明する。

【0064】(1) 通販会社が商品カタログ情報の入っ た記録媒体13としてメモリカードを配布する。

【0065】(2) ユーザーは、受信機12に上記の記 録媒体13を装着し、記録媒体13からカタログ情報を 30 読み出して受信機12のディスプレイに表示し、受信機 12のキーボードなどの操作手段にて画面上で対話的に 繰作して商品カタログ情報を見ることができる。

【0066】(3) ユーザーは、気に入った商品を対話 的な操作の中で発注操作することにより、受信機12は 発注データを上りの回線を通してCATV放送馬11に 送りCATV放送局11は受注管理サーバー14に発注 データを送信する。

【0067】(4) 受注管理サーバー14の発注データ を元に、運販会社15は商品を発送する。

【0068】(5) 通販会社15は、新しい商品カタロ グ情報の入った番組データをCATV放送局11に提供 する。

【0069】(6) CATV放送局11は下り回線を通 して独立データ放送で上記の香組データを送信する。 【0070】(7) 受信機12は番組データを受信し て、その受信データがメモリカードと同一のカタログ情 級の最新版であれば、メモリカードの内容を更新する。 【0071】なお、記録媒体13には、カタログ情報及 び識別子のほかに、さらに更新履歴情報や、顧客識別情

11

【0072】図3は図1又は図2における受信機の機能 的構成のブロック図を示している。図3に示す受信機 は、図示しないアンテナの屋外ユニットケーブルまたは CATVケーブルが接続するRF入力端子21と、受信 手段22と、画像再生手段23と、表示手段であるディ スプレイ24と、CPUなどで構成される制御手段25 と、記録媒体であるメモリカード27を装着するための 記録媒体装着部である。メモリカードスロット26と、 ユーザー操作手段28と、通信モデムなどの通信手段2 9と有して構成されている。

【0073】受信季段22は、少なくとも文字、映像及 びスクリプト(予め登録された一連の作業手順)の各デー タを育するデータ放送香組を受信する。

【0074】副御季段25は、メモリカードスロット2 6に装着されているメモリカード27に記録されている 識別子を検出する手段と、受信手段22で受信したデー 夕放送番組に含まれる識別子を検出する手段と、受信し たデータ放送番組の識別子と前記メモリカード27に含 まれる識別子を比較する手段と、比較の結果、同一情報 提供者からの更新されたデータ放送番組であると判断し 20 た場合に受信した放送番組を前記メモリカード27に書 き込む手段とを有している。

【0075】画像再生手段23は、発信したデータ放送 香組の他に前記メモリカード27に記憶されたデータ放 送番組を再生して、ディスプレイ24に表示する。

【0076】前記メモリカード27には、データ放送番 組のフォーマットで商品方タログ情報が記憶される一 方、番組識別コードのほか、番組データの更新履歴情 報。さらに顧客識別情報及び発注履歴情報を記憶すると とができる。

【0077】また、ユーザー操作手段28と通信手段2 9とで、データ放送番組に含まれるスクリプトにしたが って番組を提示している間に、ユーザーの選択操作に応 じて、所定の受注サーバーとの間でデータ通信して発注 データなどを送信することが可能である。

【0078】上記の構成では、図示しない放送局のデー 夕放送サーバーは、更新されたカタログ情報を番組識別 コードと更新履歴情報を含めてデータ放送で放送する。 受信機は送られてくる更新されたカタログ情報が同一情 級提供者のものであるかを判定した後にメモリカード2 40 4.14…受注管理サーバー 7に書き込んで更新する。更新されたカタログ情報はデ ィスプレイ24に表示され、ユーザーの選択操作に応じ て商品発注情報が通信モデム29と通信回線を通して図 示しない受注管理サーバーに送られる。

【0079】以上述べた本発明では、i) スマートメ ディアやSDカードのメモリカードを倒えばXMLフォ ーマット(次世代のインターネットで使用する予定の言 語)で電子化されたカタログ情報に仕立ててカタログ通

販に利用する。j1) これ自体はバッケージメディアであ るが、カタログ情報の更新にデータ放送を利用する。11 す) さらに、モデム機能を有しているのでカタログ情報 を見ながらGUIによる商品購入ができる。 nv) 受信機 能を複数化(チューナ〜TSデコーダまでの回路系統を 2系統装備) すれば、データ放送のデータ帯域が狭くて も独立データ放送の利点を生かし、視聴者が他のテレビ 番組等を視聴している間などでも大容量の記録媒体に長 い時間をかけて受信させることが可能である。

12

10 【0080】尚、以上述べた実施の形態では、通販会社 は予めカタログ情報を記憶した記録媒体をユーザーに配 布するように説明したが、本発明では、データ放送を送 出する放送局の識別子が記録されていることでカタログ 情報がデータ放送のデータによって記録可能であれば、 予めユーザーに配布する記録媒体にはカタログ情報が書 き込まれていなくても(即ちブランクメディアであって も) よいことは勿論である。また、データ放送番組で送 信されるデータは、記録媒体の内容の一部を更新するも のでも、全体を更新するものでもよいことは勿論であ る。

[0081]

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、デー 夕放送を利用して、記録媒体に記憶したカタログ情報の 更新が可能であり、十分な商品情報をユーザーに提供で きると共に、通信時間及び通信コストの削減が可能とな

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施の形態の通信販売システム及び その方法を示す説明図。

30 【図2】本発明の他の実施の形態の通信販売システム及 びその方法を示す説明図。

【図3】図1又は図2における受信機の機能的構成を示 すプロック図。

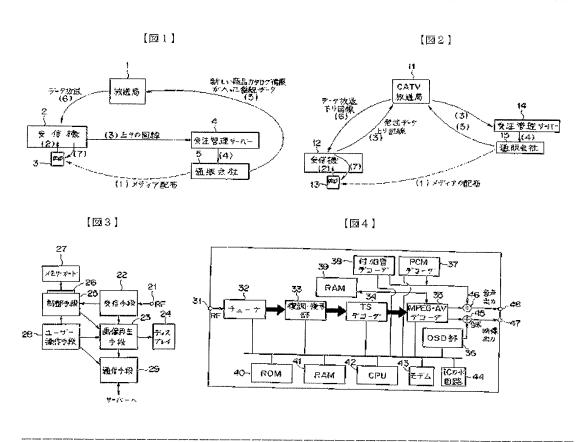
【図4】一般的なディジタル放送受信機の構成例を示す ブロック図。

【符号の説明】

- 1, 11…放送局
- 2.12…受信機
- 3、13…記錄媒体
- - 5、15…通販会社
 - 22-受信手段
 - 23一画像再生手段
 - 24…ディスプレイ(表示手段)
 - 2.5 …制御手段
 - 26…メモリカードスロット (記録媒体装着部)
 - 27…メモリカード(記録媒体)
 - 28…ユーザー操作手段

(8)

特開2002-15153



フロントページの続き

(51)Int.Cl.' 識別記号 目 0 4 N 7/173 6 4 0 F I H O 4 N 7/173

テーマエード(参考) 6 4 0 Z

ドターム(参考) 58049 8811 CC02 CC05 CC08 DD05 EE01 EE07 FF03 FF04 FF09 GC03 GC04 GC07

5B975 KK07 KK13 KK20 KK33 KK37

KK49 ND93 ND29 ND23 ND34 PQ92 PR93 PR98 UU38

5C064 BA01 BA07 BB10 BC06 BC16 BC23 BC25 BD02 BD07